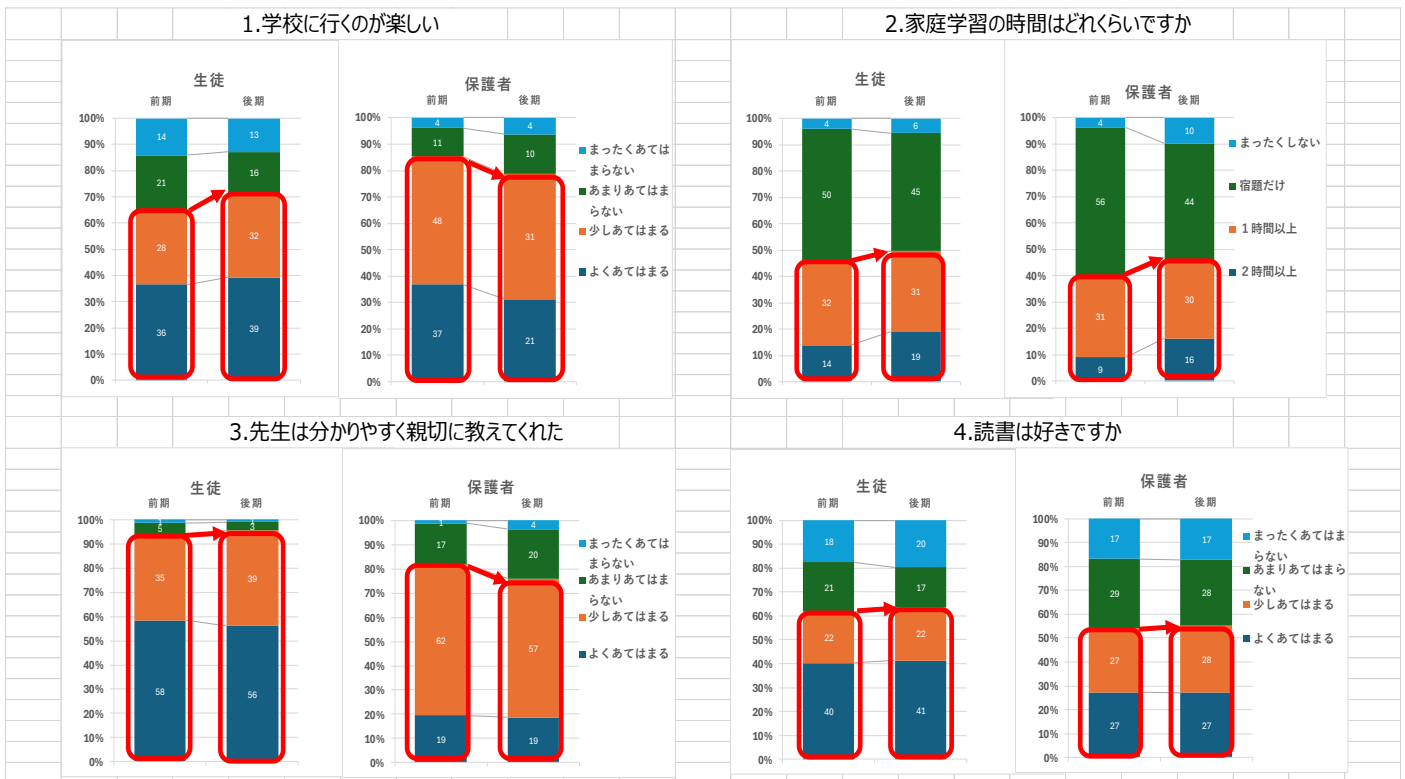


令和5年度 北九州市立緑丘中学校 学校評価

1. アンケート結果



【成果と考察】

- ・学校に行くのが楽しいという質問に対して、生徒は「よくあてはまる」「少しあてはまる」が増加している。
- ・授業時間以外の1日の家庭学習時間はどれくらいですかの質問に対して、「2時間以上」「1時間以上」が生徒、保護者とも増加している。
- ・先生は分かりやすく親切に教えてくれたかの質問に対して、生徒は「よくあてはまる」「少しあてはまる」が増加している。
- ・読書は好きですかの質問に対して、「よくあてはまる」「少しあてはまる」が生徒、保護者とも増加している。

令和5年度のスクールプランで重点的に取り組んだ項目はおおむね成果を上げている。コロナ禍で進展したICT環境を活用して、それぞれの生徒の学習到達度や興味・関心に合わせた補充的な学習を仕組むことが来年度の課題である。また、行事の精選や職員の働き方改革も考慮しながら、行事を企画し、特に体験的な活動の時間を大切にするなど、生徒の自己肯定感を高め、魅力ある学校づくりを継続する。

2. 第二回学校運営協議会（令和5年9月実施）での熟議で取上げた内容

- ・コロナ終息後の中学校区の交流
- ・地域の人材育成
- ・地域の公園等の使い方
- ・家庭との連携
- ・いじめ
- ・不登校
- ・ヤングケアラー
- ・生徒の心の教育
- ・安全と安心
- ・学力と体力
- ・シビックプライド
- ・地域の防災
- ・ICTの利活用
- ・SNS利用の諸問題

3. 第三回学校運営協議会（令和6年2月実施）振返りアンケートの記述を一部抜粋

- 地域との連携で、多岐にわたる課題に対応するための綿密な計画がなされていると感じています。
- 学校行事等で、子供たちが生き生きと活動する姿を見て、教職員の方々の努力を感じました。
- 登下校時の挨拶が気持ちよくできています。規範意識もはぐまれていると感じています。
- 学習指導において、生徒が主体的に学ぶことができる授業づくりを全職員で目指し、実践していくことを望みます。

